

# 着床式洋上風力発電施設 基礎別撤去施工イメージ

---

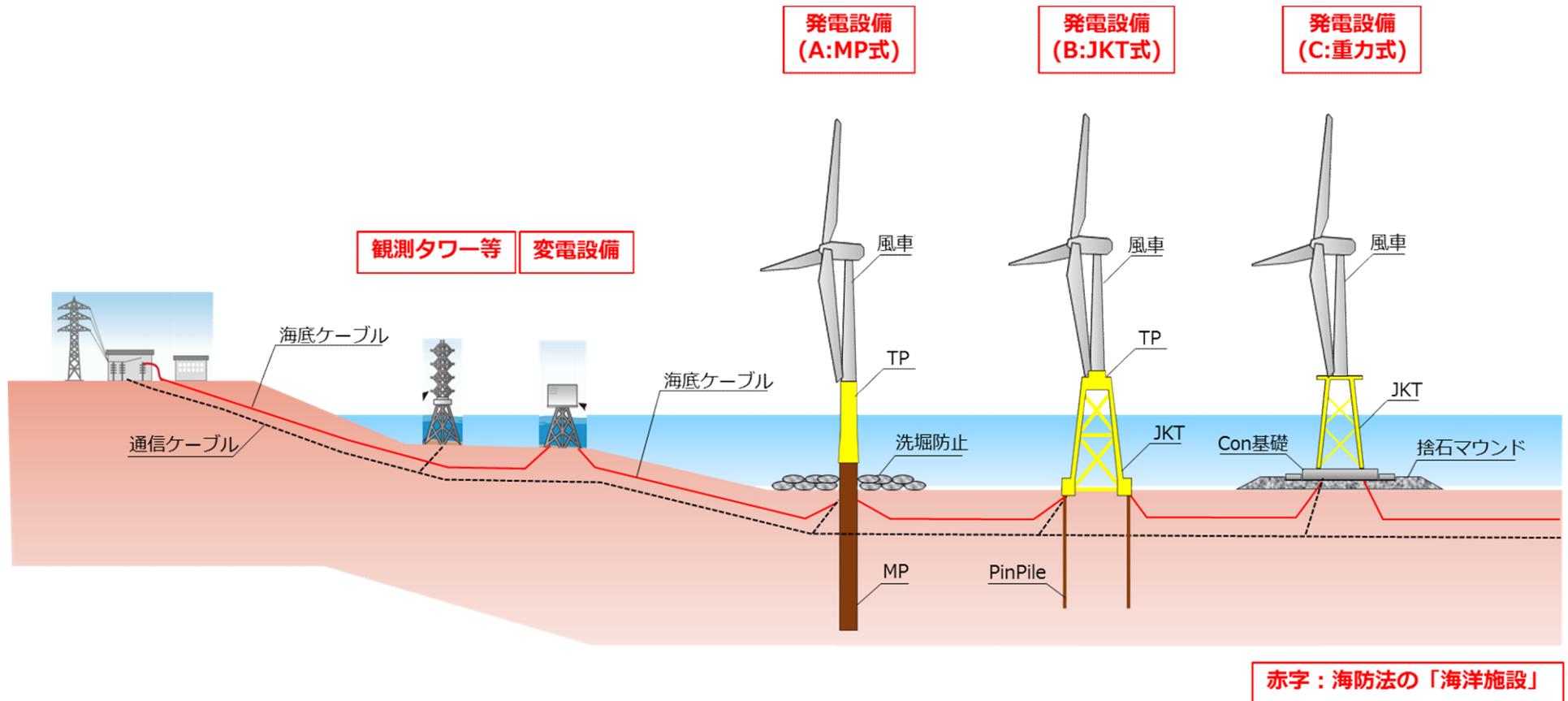
令和3年8月6日



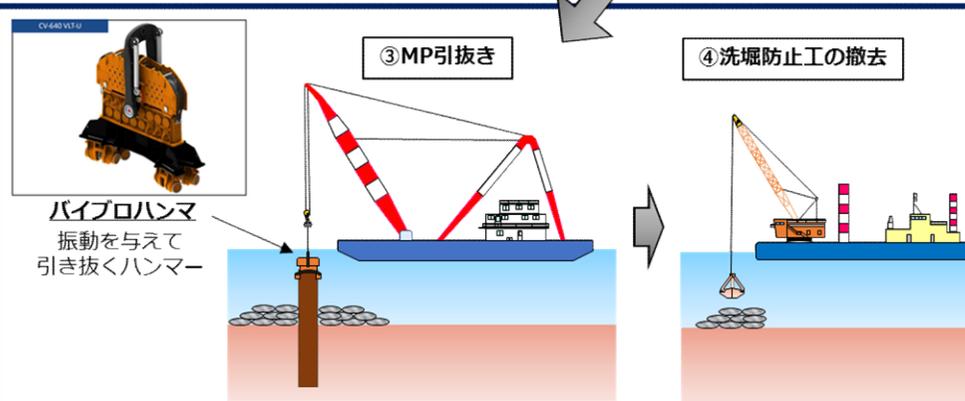
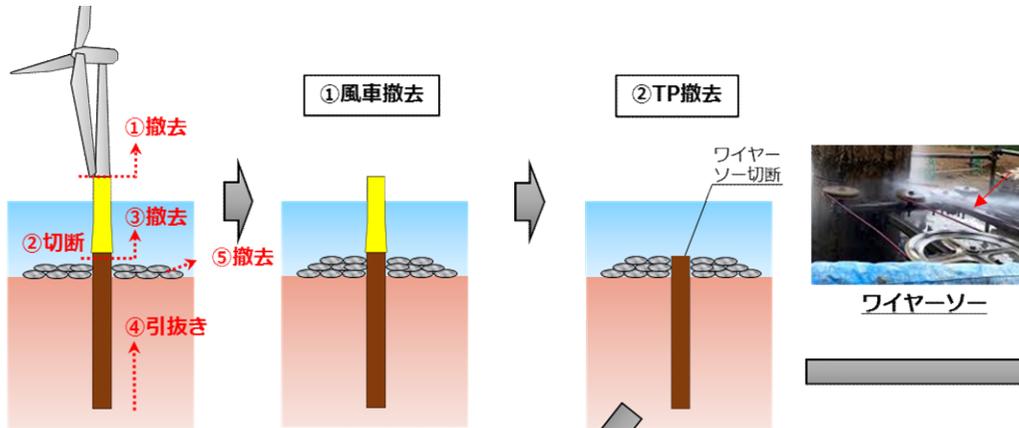
一般社団法人

日本埋立浚渫協会

# ■ 着床式洋上風力発電施設の3タイプ



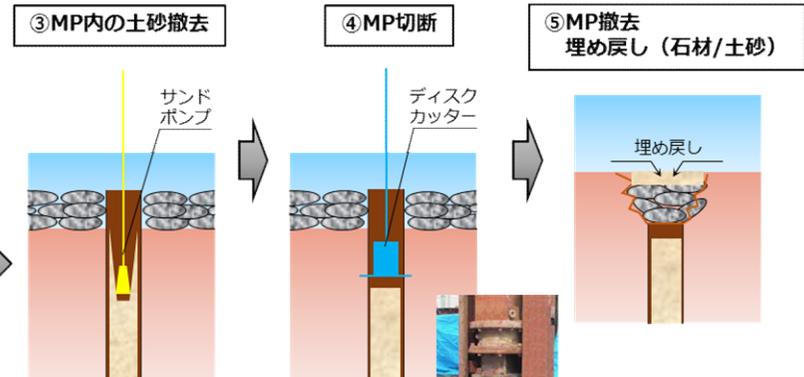
# A : MP式基礎の撤去



- 懸念事項**
- ✓ 汚濁拡散の懸念あり
  - ✓ パイロのチャッキング位置の健全性確保  
(パイルが破損し、結果的に残置の可能性あり)
  - ✓ 周辺地盤の緩み・乱れが生じる

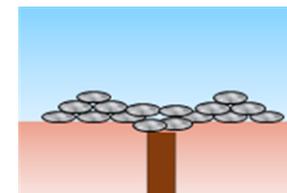
全撤去

## 部分残置



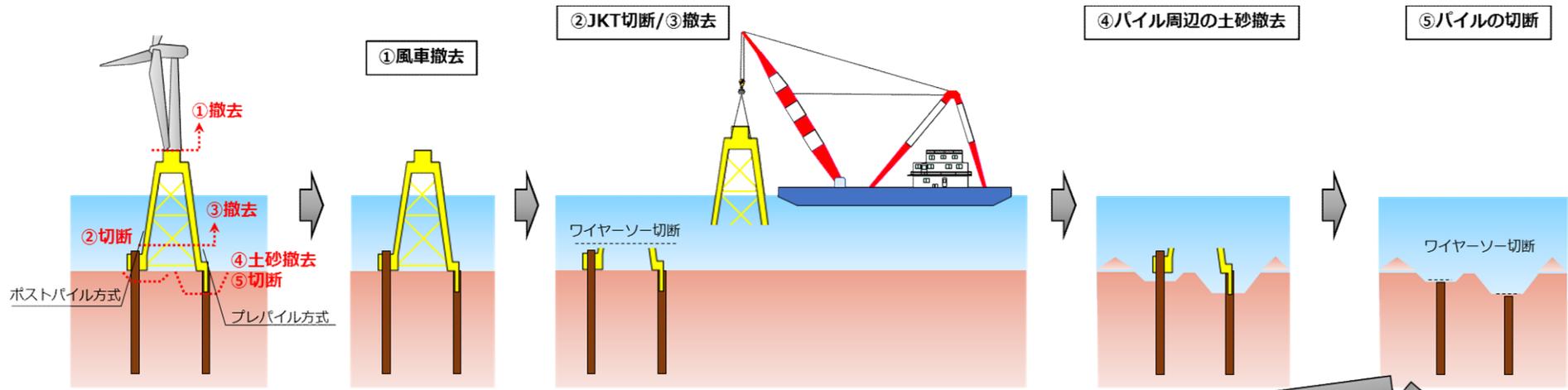
- 懸念事項**
- ✓ 汚濁拡散の懸念あり
  - ✓ 航路周辺に残置する場合には、残置物が  
将来の航路増深の障害となる可能性あり

### 他残置例：洗堰防止工の残置



- 懸念事項**
- ✓ 漁業関係者等の海域利用者との  
事前調整が必要
  - ✓ 海底地形の変化について事前に  
影響評価が必要

## ■ B : JKT式基礎の撤去

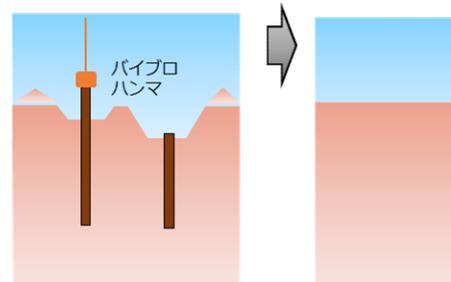


※ JKT式で洗堰防止工が設置されている場合、MP式と同様の撤去手順となる。

### 懸念事項

- ✓ バイプロのチャッキング位置の健全性確保 (パイルが破損し、結果的に残置の可能性あり)
- ✓ 広域に周辺地盤の緩み・乱れが生じる
- ✓ 土砂撤去時に汚濁拡散の懸念あり

### ⑥パイロハンマ引抜き ⑦埋め戻し



全撤去

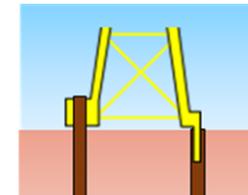
部分残置

### ⑥埋め戻し

#### 懸念事項

- ✓ 土砂撤去時に汚濁拡散の懸念あり
- ✓ 航路周辺に残置する場合には、残置物が将来の航路増深の障害となる可能性あり

#### 他残置例：JKT（水中部）の残置



#### 懸念事項

- ✓ 漁業関係者等の海域利用者との事前調整が必要

# C : 重力式基礎の撤去

